

#### (4) 新 DCTP 特別委員会活動報告

座長 長江 敬  
幹事長 繁尾 明彦

##### ◇活動の概要

当委員会（「DCTP」とは、(Dreams Come True Project) の略です）は、昨年度に引き続き、人口減少問題等を踏まえた「20 年後の山梨のあるべき姿」の新たな提言に向け、検討・作業を進めて参りました。

具体的には、今年度は年度前半において、昨年から着手した2つのプロジェクト（「やまなし女性にプラス！プロジェクト」、「ICT プロジェクト」）の取組みを進めました。このうち、「やまなし女性にプラス！プロジェクト」に関しては、検討メンバーをアサインのうえ、幅広い有識者による講演の開催や意見交換の実施などを重ね、3月に「やまなし女性にプラス！白書」として取り纏め、対外公表しました。また、「ICT プロジェクト」に関しては、働き方改革のひとつのツールとして、「やまなし女性にプラス！プロジェクト」での活用を議論してきました。

続く年度後半においては、2つのプロジェクトに関して、白書の取り纏めなど一定の成果が得られたことを踏まえ、今後の取組みの方向性について、幹部会やプロジェクトのメンバーで議論を重ねたところです。その結果、「やまなし女性にプラス！プロジェクト」の枠組みを活用しつつ、以下の2つの施策に着手することとなりました。

##### 《施策1》 女性活躍に向けた支障事例と解決策の取り纏め

現状、女性の活躍に向けて支障となっている具体的な事例を集約したうえで、考えられる解決策を提示し、報告書として取り纏めることを目指す。

##### 《施策2》 高齢化・人口減少社会に備えた街づくりに向けた提言

県や県内関連団体、企業に対し、20年後の高齢化・人口減少社会を見据え、「高齢化・人口減少社会のもとでの望ましい街づくりに向けた県内女性の意見」を提言することを目指す。

##### ◇活動実績報告

###### ■幹部会

- (1) 今後の当委員会の進め方に関する意見交換 (30. 5. 11、5. 29)
  - ・ 今後の施策案を取り纏め、「やまなし女性にプラス！プロジェクト」のメンバーに提案することを決定
- (2) 県庁副知事訪問 (30. 6. 14)
  - ・ 今後の施策案について意見交換
- (3) やまなし女性にプラス！第7回会合を踏まえた今後の進め方に関する意見交換 (30. 8. 22)

- ・ 上記 2 つの施策の具体的な作業日程を議論
- (4) 県庁副知事訪問 (30. 9. 6)
- ・ 上記 2 つの施策の具体的な作業日程に関する意見交換、県に対してサポートを依頼

#### ■やまなし女性にプラス！プロジェクト関係

- (1) 第 4 回会合 (29. 10. 20 日銀甲府支店会議室)
- ・ 講演「COC+と女性活躍」 講師：山梨県立大学 佐藤特任教授
  - ・ 講演「YSKe-com の取り組み事例紹介」 講師：YSKe-com 山本エキスパート
- (2) 第 5 回会合 (30. 1. 23 日銀甲府支店会議室)
- ・ 講演「県アドバイザーの活動」 講師：山梨県労政雇用課 渡邊課長補佐
  - ・ 講演「山梨中央銀行の取り組み事例紹介」 講師：山梨中央銀行人事部 丸山副長
  - ・ 報告書に関する議論
- (3) 第 6 回会合 (30. 2. 20 日銀甲府支店会議室)
- ・ 「やまなし女性にプラス！白書」の初稿に関する議論
- (4) 「やまなし女性にプラス！白書」公表の記者会見 (30. 3. 5 日銀甲府支店会議室)
- ・ 「やまなし女性にプラス！白書」を公表
- (5) 第 7 回会合 (30. 8. 10 日銀甲府支店会議室)
- ・ 今後の新 DCPT 特別委員会の進め方に関する意見交換
  - ・ 上記 2 つの施策に着手することを決定
- (6) 第 8 回会合 (30. 9. 26 日銀甲府支店会議室)
- ・ 上記 2 つの施策の具体的な日程を決定
  - ・ 施策 2 での女性活躍に向けた支障事例に関する議論

#### ■ICT プロジェクト関係

- (1) IoT および AI の活用による 20 年後の高齢化・人口減少社会を見据えた街づくりへの関わり方を議論 (30. 5. 29 日銀甲府支店会議室)
- (2) 第 7 回やまなし女性にプラス！プロジェクト会合において、女性目線による IoT および AI を活用した 20 年後の街づくりの検討を議論 (30. 8. 10 日銀甲府支店会議室)

◇今後の活動方針

今後は、施策1と施策2について、有識者による講演等を実施しつつ、プロジェクトのメンバーによる議論を進め、報告書（提言書）として取り纏めていく予定。

このうち施策1に関しては、比較的早期の取り纏めに向けて取り組むこととし、報告書の公表方法についても検討を進める。また、施策2に関しては、県の関係者、シンクタンク、関連企業等から、20年後に想定される姿と幸福度を高めるための施策や工夫に関する説明を受け、論点を整理のうえ、提言に纏めていくことを想定。

なお、今後の検討に際しては、内容に応じてメンバーを適宜アサインするなど、柔軟な検討体制を構築していく方針。



(30. 3. 5 「やまなし女性にプラス！白書」 記者発表の様子)



(30. 9. 26 新会合の様子)